

「どんぐり交流:鹿でつながる地域」 ※「団体運営支援会議」の参加者同士の新たな活動事例を紹介します。

===以下、井口レポート=====

奈良の鹿とどんぐり集め

井口和子(健康推進員:松戸市八ヶ崎在住、奈良県出身) 記

奈良の鹿のごはんが足りません！！
どんぐりを集めています。
ご協力おねがいます。

という声に応じて「小金原6-7元気くらぶ」の川面さんがLINEで参加者を募り、小金原の公園でわずか1時間余で大量にどんぐりを集めてくださいました。「童心に返って楽しく、鹿のことにも思いをはせながら集めました」との感想。



♪小金原“どんぐり隊”
(撮影:川面、皆様の許可を得て掲載)

☞広げるとこんなにたくさん! (撮影:井口)

私はどんぐりを最初一人で“21世紀の森”で集め始めました。そうしているだけで散歩中の高齢の方々が「工作するの?」「昔子どもたちに教えたことがあるわ」「一緒に集めてあげる」と声をかけてくださいました。中には認知症と思いき女性がご家族(夫)と歩かれていて会話の成立は難しそうでしたが、「どんぐりを鹿が食べるの?」「虫喰いやひび割れがあるのは水が入って中が腐るのでダメ」などと話しながらお付き合いくださいました。小金原で集められたどんぐりを自宅に持ち帰り、陰干ししていると隣の子が「これなあに?」と興味津々。子どもたちと一緒に集めても楽しそうです。

奈良の鹿は修学旅行などで知る機会が多いですし、外国人観光客にも人気があります。ただ、鹿がどこに住んでいるか何を食べているかはあまり知られていないのではないのでしょうか。また鹿がどのような扱いを受けてきたかについて奈良県民でもよく知らないのが実情です。保護や乱獲をくり返した長い歴史があります。中世には殺すと死罪になったほど守られていた鹿ですが、近世以降は農地を荒らしたり鹿の角でけがをする人が出たりして管理する必要に迫られたようです。

今回ご協力いただいた「小金原6-7元気くらぶ」はまさに御鹿狩の舞台となった地域。熊の被害のニュースを度々耳にする現在、野生生物との共生は大きな課題です。神鹿と呼ばれ、国の天然記念物でもあるのに、鹿は害獣なのか?ジビエ(野生鳥獣肉)食品なのか?国民全体で考えていくことだと思います。

どんぐりは陰干し後に梱包して発送しています。その手間や費用については、古い切手を利用する、通販の箱を溜めておく等まだまだ考える余地がありますが、「どんぐりを鹿のために集める」ことをきっかけに楽しく会話したり運動したり……来年も秋の季節イベントにできればと思っています。

【参考】・『朝日デジタル』2021年3月2日「奈良のシカ、大切にされるわけ、「殺すと死刑」の時代も」<https://www.asahi.com/articles/ASP326KSPP32POMB00R.html>

・松戸市立博物館「まつどデジタルミュージアム「小金御狩之図」」<https://matsudo-digital-museum.jp/special/high-resolution/003/>